

「あきらめなくて良かった…」

粘り強く実現迫る 日本共産党



市議会議員

いぬい 紳一郎



市議会議員

小田 桐たかし



市議会議員

徳増 きよ子



市議会議員

植田 和子

内部被ばくの調査を急いで!

原発事故から2年7ヶ月、子ども達の内部被ばくが心配されています。我孫子市が、昨年全小中学校で実施した甲状腺検査では、4人に薬の服用、経過観察が必要という結果が出ました。

日本共産党は、我孫子、柏、松戸市で甲状腺検査や内部被ばく検査への補助制度が実施されていることから、流山でも実施を提案。市長は「健康調査は必要」と認めたものの、「国が実施しないので、市独自では実施しない」と強弁しました。

これでは放射能被ばくの影響を心配する父母の願いにこたえられません。東電・国の責任追及を第一に、実現まで力を合わせましょう。

教育行政

小中学校へのエアコン設置 大きく前進

小中学校の普通教室すべてにエアコン設置を求める陳情が6月議会で全会一致で採択されました。今年の夏は、猛暑で緊急搬送される子どもが続出。日本共産党は早期設置を求め、市長に緊急要望書を提出。9月議会で質問しました。

議会委員会で 視察が決定

市内小中学校校舎の深刻な実態を日本共産党が取り上げる中で、他党・他党派も含む教育福祉常任委員会として、学校訪問を決定。改善に向け、小中学校を視察することになりました。

「小中併設校の進め方には問題がある」…9月議会最終日の討論で、すべての会派が言わざるを得ませんでした。市民の批判を無視できないことの表れです。日本共産党は、小中併設校問題で論戦をリードするとともに、学校へのエアコン設置など、市民要求実現に力をつくしました。

障害者福祉

重度心身障害者医療費助成 窓口無料化へ

2015年度から病院窓口での無料化が実現します。

現行制度は病院で一度支払い、翌月市役所で申請償還されるのは2カ月後（高齢者は3カ月後）です。障害者団体などが20年間運動してきました。

経過があります。

なお、一部自己負担増などの改善も示唆されており、完全無料化への運動が必要です。



雇用

力をあつめて ブラック企業の根絶を

臨時国会開会日の10月15日、日本共産党は参院に「ブラック企業規制法案」を提出。参院選での公約実現ヘスタートです。

市議会でも長時間労働で酷使、使い捨てのブラック企業規制をとりあげました。

市長もこういう企業姿勢は「大変遺憾」と答弁。厚労省も調査に動き始めています。若者をはじめすべての労働者が、人間らしく働ける環境の確立へ、立場を超えて法律の制定などの運動が広がっています。

健康

心電図検査に厳しい制限 背景には健診予算の大幅削減が…

今年実施された特定健診で、これまで実施されていた心電図検査が受けられなかった市民が、多勢でました。検査の実施を、「メタボ（高血圧等の薬の）服用なし」に制限したからです。心電図検査は前年比で8割以上の削減です。予算がH20年度の1億1千万円から、H25年度には1600万円へと大幅減額されたことが背景にあります。

市の「健康都市宣言」は名ばかりで、医師会から「医学上、問題がある」と復活を求められています。日本共産党は、健診の予算復活を強く求めています。

民生委員の定数を増やし 過重負担をへらして

民生委員から「業務が多く大変」「後任がいない」との声が…。

日本共産党は、民生委員一人あたりの平均業務量が全国比の3倍という事態を告発。オーバーワーク解消に定数増員を提起し、市長も「研究」を約束しました。

身近な要求実現

10月から文化会館 駐車場が無料に

いぬい 紳一郎



民間バスの割引運賃 精神障がい者にも拡大

小田 桐たかし



八木南小学校の プールサイド改修へ

徳増 きよ子



東深井小学校 学年毎の冷水器設置

植田 和子

